

がんゲノム医療の最新事情と遺伝医療の医療圏における展開

平沢 晃

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻

腫瘍制御学講座（臨床遺伝子医療学分野）

岡山大学病院 臨床遺伝子診療科

現在は「ゲノム医療実用化」の大きな潮流にある。がん遺伝子パネル検査や PARP 阻害薬や免疫チェックポイント阻害薬の保険適応、さらにはがんゲノム医療部門や遺伝子診療部門の全国的な整備とゲノムデータの集積など、日進月歩で進んでいる。がんゲノム医療では、がんのゲノム異常を同定して、細胞の個性に基づいた治療薬の選択を目指す。

一方でがんのゲノム解析によって、がん細胞内に潜在する生殖細胞系列バリエーション（変異）を検出することがある。特に乳癌、卵巣癌は比較的高率に生殖細胞系列バリエーションが同定される。生殖細胞系列バリエーションは家系員が共有している可能性があることから、本人だけでなく血縁者に対する対応も必要になり、遺伝性腫瘍関連遺伝子の病的バリエーション保持者に対しては、診断・サーベイランス、および治療の各過程で個別的介入を行なう事が可能となる。

がんのゲノム医療は通常ของทีม医療としてのがん診療の一部として位置づけられる。また、遺伝性腫瘍の病的バリエーションは家系員や地域で共有している可能性がある。そのためゲノム医療は医療圏全体での連携が求められる。

本講演会ではがんのゲノム医療導入に伴う課題を具体的に提示して地域で解決する方策を探ることを目指す。

「がんゲノム医療の最新事情と遺伝医療の医療圏における展開」

参加申込用紙

那須赤十字病院
地域医療福祉連携課 行
FAX 0287-23-9991

日 時 令和元年 8 月 8 日（木） 18 : 00～

場 所 那須赤十字病院 マイタウンホール

御施設名： _____

申 込 日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

	職 種	御氏名
1		
2		
3		
4		
5		

*お手数ですが、7月31日（水）までに FAX にて返信願います。